

北海道新幹線

北海道新幹線の概要

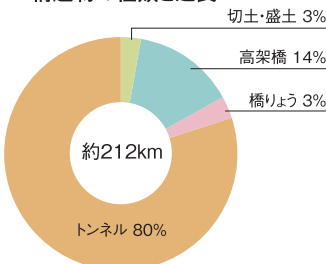


1970年 5月 18日	全国新幹線鉄道整備法公布
1973年11月 13日	北海道新幹線を含む整備新幹線の整備計画決定
1998年 2月 3日	駅・ルート概要公表【奥津軽(仮称) ^{※1} 、木古内、新函館(仮称) ^{※1} 、新八雲(仮称) ^{※1} 、 長万部、倶知安、新小樽(仮称) ^{※1} 、札幌】
2002年 1月 8日	新青森～札幌間工事実施計画の認可申請
2005年 4月 27日	新青森～新函館(仮称) ^{※1} 間工事実施計画が認可
5月 22日	新青森～新函館(仮称) ^{※1} 間着工
2011年12月 26日	整備新幹線の取扱いについて政府・与党確認事項 ・新青森～新函館(仮称) ^{※1} 間の開業時期は2015年度末予定 ・新函館(仮称) ^{※1} ～札幌間の開業時期は新青森～新函館(仮称) ^{※1} 間の開業から概ね20年後 ・青函共用走行区間の最高速度は当面140km/h
2012年 6月 29日	新函館(仮称) ^{※1} ～札幌間工事実施計画が認可
8月 25日	新函館(仮称) ^{※1} ～札幌間着工
2015年 1月 14日	整備新幹線の取扱いについて政府・与党合合せ ・新函館北斗～札幌間の開業5年前倒しを決定。2030年度末の完成・開業を目指す
2016年 3月 26日	新青森～新函館北斗間開業
2019年 3月 16日	ダイヤ改正 青函トンネル内の運転速度を160km/hに引き上げ、東京～新函館北斗間が 最速3時間58分となる
2020年12月 31日	時間帯区分方式による青函トンネル内時速210km営業運転を実施
2021年 3月 9日	事業基本計画の変更(貨物運送区間、基本併結輸送力、駅の取扱範囲)が認可
3月 13日	ダイヤ改正 東北新幹線上野～大宮間の最高速度引き上げにより、 東京～新函館北斗間が最速3時間57分となる
3月 24日	北海道新幹線を使用した貨客混載事業を開始
2024年 4月 29日	時間帯区分方式による青函トンネル内時速260km営業運転を実施
2038年度末頃	新函館北斗～札幌間開業見込み ^{※2}

※1 「工事実施計画」等で使用された名称

※2「北海道新幹線(新函館北斗・札幌間)の整備に関する有識者会議」の報告書(2025年3月報告)による

■新函館北斗～札幌間 構造物の種類と延長



■青函トンネルの列車運転本数(上下線計)

※2025年7月現在

北海道新幹線	26本	貨物列車	51本
--------	-----	------	-----

■新函館北斗までの最速時分



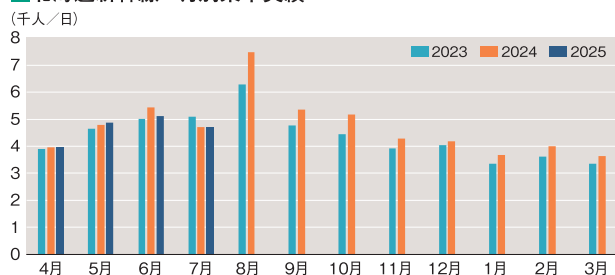
■北海道新幹線 概要図



■北海道新幹線 年度別累計乗車実績

2023年度	約1,601,000人	2024年度	約1,726,700人
--------	-------------	--------	-------------

■北海道新幹線 月別乗車実績



整備新幹線の基本条件とスキーム

整備新幹線を整備するに当たっては、以下の5つの条件を満たしていることを確認した上で、着工することとしています。

1. 安定的な財源見通しの確保
2. 収支採算性
3. 投資効果
4. 営業主体であるJRの同意
5. 並行在来線の経営分離についての沿線自治体の同意

●整備新幹線とは

「全国新幹線鉄道整備法」に基づく1973年の「整備計画」により整備が行われている以下の5路線のことをいう。

北海道新幹線	青森 - 札幌間
東北新幹線	盛岡 - 青森間
北陸新幹線	東京 - 大阪間
九州新幹線(鹿児島ルート)	福岡 - 鹿児島間
九州新幹線(長崎ルート)	福岡 - 長崎間

※出典：国土交通省ホームページ(◆整備新幹線について)による

●整備新幹線の整備方式について(上下分離)



＜上下分離＞

施設への貸入

貸付料の支払
(受益の範囲)

鉄道・運輸機構
(施設の建設・保有)

＜公共事業方式＞

建設費の負担
国 2/3
地方 1/3
※貸付料除く